Umbrella展開用の内部DNSサーバの設定

内容

はじめに

内部DNSサーバの設定

はじめに

このドキュメントでは、Cisco UmbrellaのVAコンポーネントを導入するように内部DNSサーバを 設定する方法について説明します。

内部DNSサーバの設定

Cisco Umbrellaの<u>仮想アプライアンス(VA)コンポーネント</u>を導入するには、すべての内部DNSサーバにこのDNS設定を適用することをお勧めします。

1. DNSサーバーのネットワークアダプター設定で、ループバックアドレス(127.0.0.1)を使用して、サーバーがDNS解決に自分自身を使用するようにします。2番目のエントリは、別の内部DNSサーバである必要があります。

his capability. Otherwise, you need	tomatically if your network supports I to ask your network administrator
or the appropriate IP settings.	
Obtain an IP address automatic	cally
Use the following IP address:	
IP address:	27 (47) (2
Subnet mask:	
Default gateway:	
Obtain DNS server address aut	tomatically
Use the following DNS server a	ıddresses:
Preferred DNS server:	127 . 0 . 0 . 1
Alternate DNS server:	10 . 122 . 2 . 135
Validate settings upon exit	Advanced

26492560404372

2. DNSサーバーのフォワーダー設定では、仮想アプライアンスのIPアドレスではなく、Umbrellaエニーキャストアドレス(208.67.220.220および208.67.222.222)を使用します。DNSサーバから仮想アプライアンスにDNSクエリを転送すると、DNSループが発生する可能性があります。https://docs.umbrella.com/deployment-umbrella/docs/6-local-dns-forwardingでは、この操作は推奨されておらず、サポートされていません。

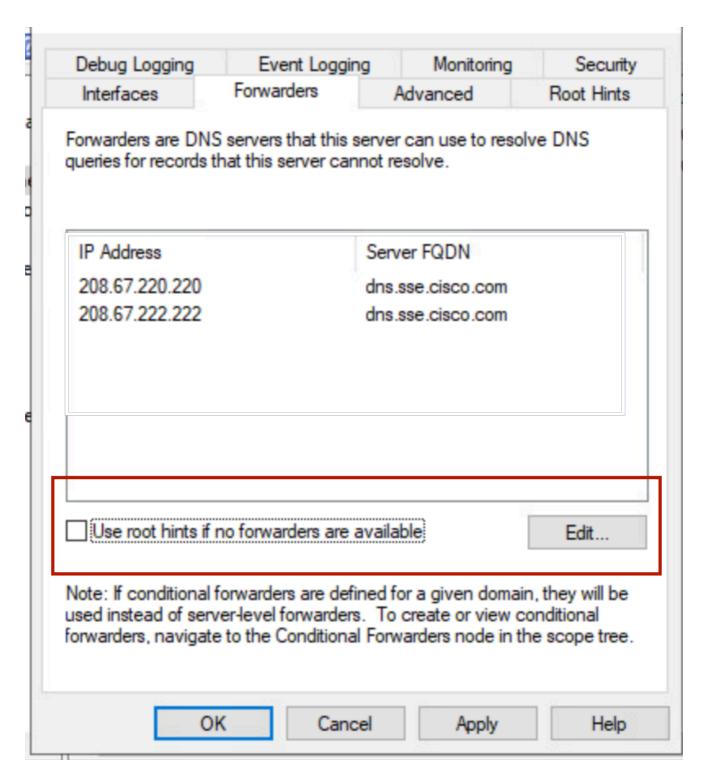
Debug Logging	Event Loggin	g Monitoring	Security
Interfaces	Forwarders	Advanced	Root Hints

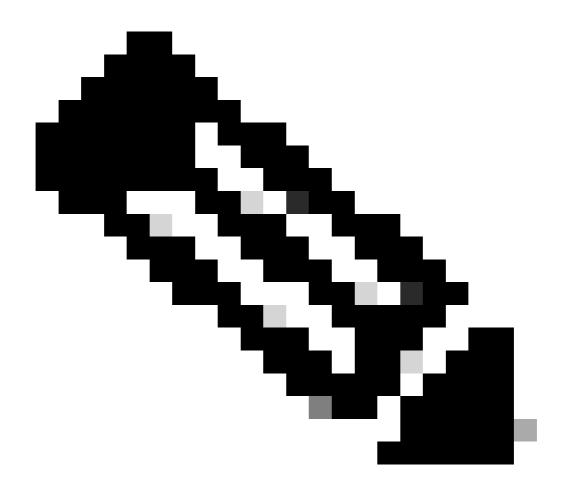
Forwarders are DNS servers that this server can use to resolve DNS queries for records that this server cannot resolve.

IP Address	Server FQDN	
208.67.220.220	dns.sse.cisco.com	
208.67.222.222	dns.sse.cisco.com	

26492637809300

3. Windows DNSサーバを使用している場合は、「ルートヒントを使用」オプションの選択を解除することを検討してください。このオプションを選択すると、DNSトラフィックがバイパスされる場合があります。 このベストプラクティスの詳細については、ルートヒントについてさらに説明した記事を参照してください。





注:フォワーダ設定の最後の手段としてルートヒントを使用するかどうかは、ユーザの判断によります。[ルートヒントを使用する]オプションをオフにすると、DNSサーバーが外部ドメインを解決できない状況が発生する可能性があります。このオプションを選択することに不安がある場合は、このオプションをオフにする必要はありません。

- 4. サーバーがメールサーバーとしても機能する場合は、ISPのDNSサーバー、またはISPが提供する再帰リゾルバーなどをフォワーダーに指定するのが最善の方法です。メールサーバでのUmbrellaの使用に関する潜在的な問題については、次の記事を参照してください。
 - UmbrellaとEメールサーバ
 - DNSBLSおよびURIBLSでUmbrellaは機能しますか

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照することを推奨します。